キャッシュカードでも
払えるんです。
キャッシュカード CASH CARD = J-Debit

J-Debit 会報誌（季刊）

J-D Lounge

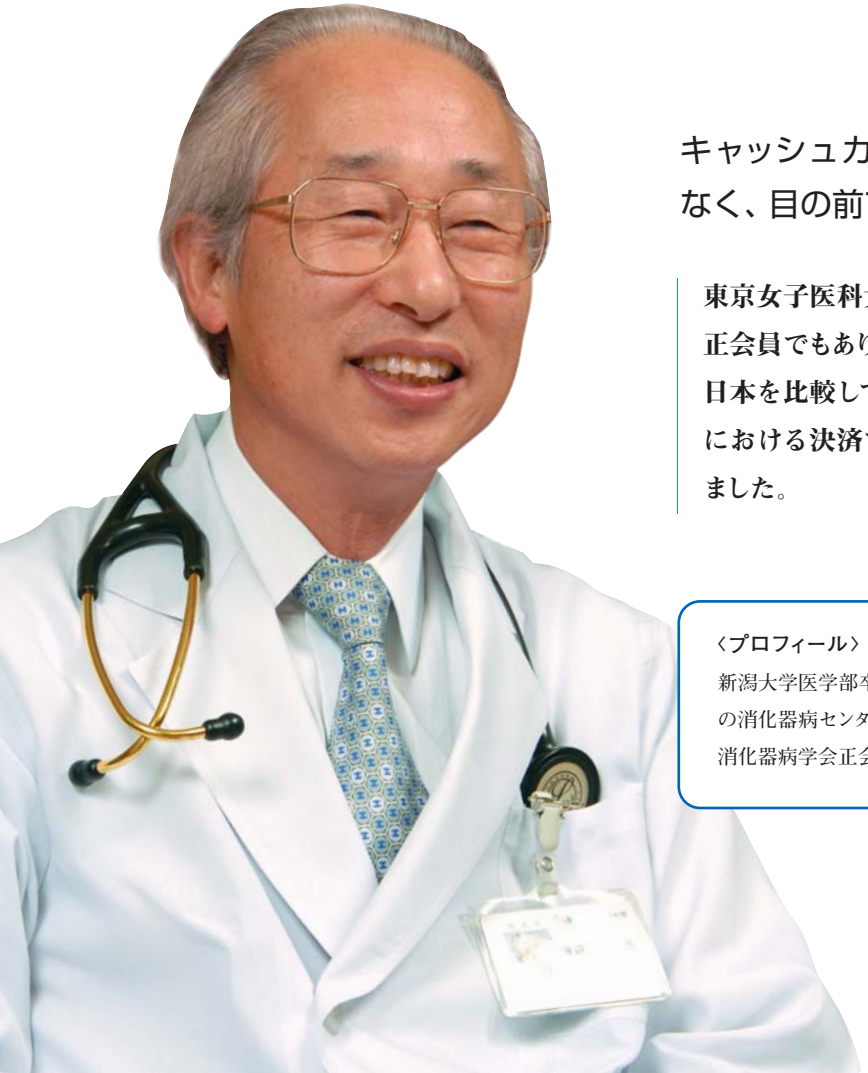
2007 春（季刊誌　1・4・7・10月発行）
J-D Loungeは会員の皆様と協議会を結ぶ会報誌として、年4回の発刊を予定しています。
J-Debitについて自由に語っていただくラウンジのような情報誌を目指します。

vol.5

INTERVIEW 特集：「私とカード社会」

クレジットカードは「明日のことは心配するな」という決済システム。J-Debitは、「現実をきちんと見つめる」等身大の決済システムですね。

東京女子医科大学教授　**渡辺伸一郎**



キャッシュカードをレジの奥に持っていかれることもなく、目の前で決済してくれるからいいですね。

東京女子医科大学で教授を務める渡辺先生は、米国消化器病学会正会員でもあり、アメリカへの出張もしばしば。アメリカやヨーロッパ、日本を比較して、J-Debitはどのような存在に見えるのか。また病院における決済で、J-Debitの使い勝手はどうかなどお話をうかがいました。

〈プロフィール〉 渡辺伸一郎さん
新潟大学医学部卒業。1996年より東京女子医科大学中央検査部教授。同大学病院の消化器病センターで診療にあたる傍ら、日本消化器病学会評議員を務める。米国消化器病学会正会員、米国膵臓病学会会員。

病室には貴重品をしまう場所がありません。現金を手元に置くより、カードの方が安心かもし

家電量販店で女房がJ-Debitを使ったことがあります。

J-Debitの存在は知っていましたが、これまで使う機会はありませんでした。というのは、私は買い物をほとんどしないからです。でも先日、女房がある家電量販店に行った時、J-Debitを勧められてはじめて使ったと話していました。
欲しかった家電が「その日限り」の安売りになっていたのに、持ち合わせが足りない。銀行でおろしてくるのも面倒だし、どうしようかと迷っていたら店員さんが「それならJ-Debitがいいですよ」と教えてくれたそうです。
何日もセールをしていたら「お金を持って、また出直してくればいい」と考えて、J-Debitを使うチャンスはなかったかもしれません。使ってみたら結構便利だったと話していました。

実は私自身は、電車のカードも持っていないし、クレジットカードも1枚しかありません。以前はいろいろ持っていましたが、年会費などを計算した結果、枚数を絞ることに決めました。同じ系列のカードでも、種類によって年会費が無料だったり何千円もしたり、使わないカードにかなりの会費を払っていることに女房が気づいたからです。
それにたくさん持っていると、何がなんだかわからなくなってしまうでしょ。万一カードケースごと紛失したら、あちこちのカード会社に連絡しなければならない。1枚だけなら、それがあるかどうかだけ確認すればいいわけです。

目の前で決済してくれるのはいいですね。

それでもアメリカなどに出張に行く際は、なるべく現金を持たないようにしています。支払いは、クレジットカードかトラベラーズチェック。海外出張が年に3～4回ある年は、円が安い時にトラベラーズチェックを女房が買いだめしておいてくれて、それを持って行きました。有効期限もないし、現金代わりに使えるから便利です。
海外でクレジットカードを使うと結構レートが高いんですよ。クレジット会社の手数料と加盟店の手数料が、乗っているからでしょうか。ホテル代を払って、みんなで食事に行った時の代金を払って…ということが重なると、レートもけっこうバカにならない数字になります。
クレジットカードにはもう一つ心配なことがあります。決済する際、お店の奥に持って行かれてしまうことが多いでしょう。スキミングとかされても、わからない。
それに比べると、J-Debitは目の前で決済してくれるところがメリットですね。利用者に手数料がかからないことも、即日決済ということも、細かな金額でも使えることも、わかりやすくていいシステムだと思います。

れません。

J-Debitは等身大の決済システムかもしれません。

ヨーロッパではデビットカードがかなり普及しているという話を聞きましたが、アメリカはクレジット社会です。お国柄というか、文化の違いが反映されているのかもしれません。フランス、ドイツ、イギリス…ヨーロッパの人って堅実です。お金でも物でも建物でも、自分たちが持っているものを大切にしながら、その中から使っていこうという意識が強い気がします。
一方アメリカは、将来の成長性を重視した消費優先型の社会です。新しいものへの好奇心が強いからでしょうか。日本でも、クレジットカードという存在は、経済が右肩上がりの時代にどんどん普及しましたね。今日はお金がなくても、明日は大丈夫！という心理が背後にあるのかもしれません。
J-Debitは、口座にある分しか使えないのですから等身大のシステムです。常に現実をきちんと見る必要がある。自己責任というか、自己管理が必要な時代のニーズに応えた決済方法ですね。

病院での決済に、J-Debitは便利かもしれません。

ちなみに女子医大では、会計システムにJ-Debitの決済も取り入れています。私は会計の現場に立ち会う機会がないので使用頻度などはよくわかりませんが、入院・手術のように費用がかかる場合、J-Debitはたしかに便利かもしれません。クレジットローンは使えないし、皆さん現金を持って窓口にいらっしゃると思いますが、大金を持って歩き回るのは不安がありますからね。
どこの病院でも同じだと思いますが、病室というのは患者様以外にも家族の方やお見舞の方が出入りできるので、どうしてもセキュリティが甘いところがあります。ところが病室はスペースが限られている関係で、患者様用の金庫を置くこともできません。テレビ台のような場所や、洋服を入れるロッカーにお金や貴重品をしまわざるを得ないのが現状です。

現金をたくさん手元に置いておくよりも、キャッシュカードを1枚置いておいた方が管理しやすいし、盗難にあいにくいかもしれませんね。
入院が必要な患者様は、ご高齢の方が多くを占めています。家族の方が会計でJ-Debitを使うのは構わないでしょうが、一人暮らしの方などはヘルパーさん付き添いでいらっしゃるケースも見受けられます。まさかヘルパーさんに暗証番号を教えるわけにいかないですから、病室で決済できるようにするとか、何か解決策が欲しいですね。
カードの暗証番号を覚えているかどうかも問題です。パソコンなどいろいろなパスワードがあると、日頃あまり使い慣れていない番号はすぐ忘れてしまいます。ぱっと打ち込めるのは、毎日使っている電子カルテのパスワードくらいです。
ご高齢の方にJ-Debitをもっと使ってもらうには、暗証番号以外の認証方法を採用することも必要かもしれません。

キャッシュカードでも払えるんです。 CASH CARD ＝ J-Debit

株式会社 ビックカメラ

J-Debitの客単価は平均の約4倍。積極的な声かけで活用を促進。

首都圏を中心に、名古屋、大阪、札幌、福岡と全国に24店舗を展開するビックカメラ。平成19年も、京都と岡山へ出店が予定されています。家電量販店の旗手として、売上も4800億円（2006年8月）を超えています。J-Debit決済開始当初から積極的に導入を推進してきた同社では、どのような利用ニーズがあるのでしょう。ビックカメラ企画部の渡辺英二係長にお聞きしました。

企画部　渡辺 英二 氏

●クレジット1回払いの人には必ずJ-Debitを勧める

ビックカメラでは1999年（試行期間）にJ-Debitを導入。当初は「デビットカードとは」から説明しなければならずお客様も手間取ったそうですが、今ではごく普通にキャッシュカードを出してお買い物をする人が目立つようになりました。「現金と同じポイントがつく」というのは、やはり大きな魅力の1つです。

同社では「J-Debitは現金と同じ」という位置づけを徹底しています。たとえば名物キャンペーン「100人に1人無料（タダ）キャンペーン」の際にも、J-Debit決済で支払ったお客様にその場で現金をキャッシュバック。非常に喜ばれています。

「クレジットで1回払いを選択する人には、必ずJ-Debitをお勧めしています。クレジットはポイントが下がりますがJ-Debitは現金と同じですとお話すると、大半の人がJ-Debitを選ばれますね。私たちとしては手数料が安いこともJ-Debitの魅力ですが、現金をやりとりするリスクがない、経理的に明快で非常にスムーズという点もメリットになっています」

●J-Debitがあれば、商談を中断させずにすむ

平均的な客単価に比べて、J-Debitで買い物をした人は約4倍の単価。かなり高額の商談が多いのもJ-Debitの特徴です。実際どのように活用されているのでしょうか。

「大きな買い物をしようと思って、とりあえず20万円を持ってきたお客様がいたとします。店頭でお話するうちに、1ランク上の商品が欲しくなった。20万円じゃ足りないからちょっと銀行でおろしてきますといって外に出たら、気が変わるかもしれませんね。たとえ銀行から戻ってきても、今度は販売員が別のお客様につかまっている可能性もあります。商談を中断するということは、お店にとってもお客様にとってもデメリットです。J-Debitがあれば、商談を中断せずにすみます」

高額取引に対応しやすいように支払い限度枠をもっと高額に設定して欲しいこと、年末年始もすべての加盟銀行のカードを使えるようにして欲しいこと、この2点が同社がJ-Debitに望んでいることです。

現在、ビックカメラの店舗は全国に24カ所。レジの数だけでも1000近くに上り、すべてがJ-Debitに対応しています。現金やJ-Debit、クレジット、商品券やギフトカード、電子マネーなど決済方法が多彩になり、お客様がこれらを組み合わせて支払うこともしばしばです。決済の効率化を図り、混雑時でもレジでお客様を並ばせないことが今後の課題となっています。

株式会社 ビックカメラ
〒170-0013　東京都豊島区東池袋1-10-1 5F　TEL.03-3987-8855　http://www.biccamera.com

キャラクター&プロモーションサイト誕生！

J-Debitの魅力や使いやすさをさらに普及させるために……
新キャラクターを創出すると同時に、プロモーションサイトを立ち上げます。
イメージターゲットとして20～30代の女性を想定し、J-Debitの情報発信を行います。

新キャラクターは「デビット王子」

使い方やメリットなど、J-Debitの情報を発信するプロモーションサイトとして「J-Debit王国」を立ち上げます。情報の「わかりやすさ、親しみやすさ、話題性」を具体化するため、イメージキャラクターを登用します。

このサイトでは、デビット王子やデビー姫などの個性的なキャラクターたちが、J-Debitを使った買い物方法を教えると共に、ブログの活用などユーザー参加型の仕掛けや「キャラクターブログ」などによって、ネット内に話題を振りまきながらJ-Debitの認知度をさらに高めていきます。

平成19年度はデビット王子をネット広告、キャンペーンポスターやリーフレット、新聞・雑誌広告、タクシーステッカー、あるいはテレビCMなどで採用。PRの相乗効果により、サイトにユーザーを誘因します。

※画像はイメージです。

サイトの舞台となる「J-Debit王国」とは、「デビット王子が家族と共に暮らす王国」という設定。この王国では、すべての買い物がJ-Debit決済で行われてます。

デビット王子

メインキャラクターのデビット王子。お買い物で困っている女性がいたら「いてもたってもいられない」という性格のデビット王国のプリンス。

●リーフレット

※画像はイメージです。

●ポスター

※画像はイメージです。

●ステッカー 大・小

※画像はイメージです。

information

平成19年度通常総会

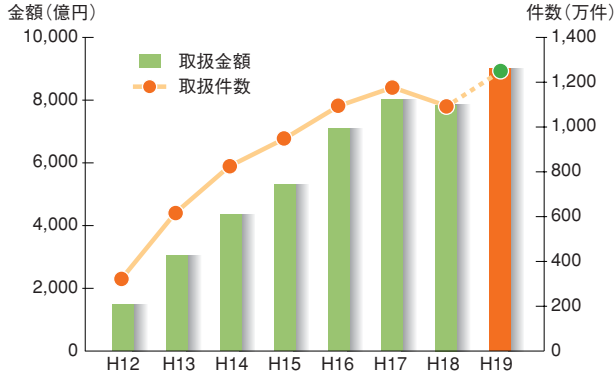
●J-Debitの平成19年度事業目標が決定

日本電子決済推進機構では、2007年3月16日、平成19年度通常総会を開催し、当機構の日本デビットカード推進協議会におけるJ-Debit事業目標を決定いたしました。本年は加盟店拡大と利用促進およびセキュリティ対策に継続的に取り組み、取引件数1,250万件（前年比14.5%増）、取引金額9,000億円（同14.6%増）を目標としています。

平成18年度は情報処理センター（間接加盟店）および新規加盟店の取引実績は堅調に推移いたしましたが、取引金額では、キャッシュカードの利用限度額引き下げ等の影響により、また取引件数では、一部業種における決済スキーム変更等の影響により、ともに前年度実績を下回る結果となりました。

平成19年度は、再度J-Debitを拡大基調に乗せるべく、従来からの取り組みに加えて、既存の枠組みの見直しや新規サービスについても積極的に検討を進めてまいります。

●ジェイデビット（J-Debit）年間取引状況の推移



●平成19年度の重点活動項目

現在、約4.1億枚のキャッシュカードが30万ヶ所以上の店舗等においてご利用可能ですが、さらに、①より多くの加盟店で、②より安全に、③より便利にご利用いただけるよう、以下の重点項目を進めてまいります。

	継続的な取組み	新規取組み
①加盟店拡大と利用促進	●未導入企業に対する積極的な情報交換を行い、会員相互の積極的な情報交換等を実施。 ●利用者に対する理解度・認知度の向上、マスメディア・店頭メディアを活用した啓 発・訴求。	●新規事業への積極的な展開を検討。 ●新たな枠組みの検討。 ●OL・キャリア層をターゲットにしたキャラクター「デビット王子」を実験的に1年間登用し、利用促進キャンペーン・各種メディアと連動した広報活動を展開。
②セキュリティ対策の継続	●会員各位の協力を得てセキュリティ監査の実施、セキュリティ・チェックシートによる確認励行等を継続し、安全・安心なJ-Debit利用環境を維持向上。 ●より安全性の高いICキャッシュカード対応J-Debit端末の導入を推進。	
③商品性のレベルアップ	●利用可能なコア時間帯の拡大等の検討。	●ポイント等の利用者向けインセンティブ施策を検討。 ●「キャッシュアウト」について引続き検討。

会員の皆様からのJ-Debitに関するご質問や本誌に掲載して欲しい内容等、ご意見をお待ちしています。
電話、FAX、メールなどでお気軽にお寄せください。

日本デビットカード推進協議会　事務局

〒100-0004　東京都千代田区大手町2-2-2 NTTDATA大手町ビル10F
TEL:03-3243-0781
URL　http://www.debitcard.gr.jp/　　メールアドレス: info@debitcard.gr.jp
月～金　9：30～18：00（祝日・振り替え休日ならびに12月29日～1月3日は除く）